

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 新潟大学教育学部附属幼稚園
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒 940-8530
 新潟県長岡市学校町 1-1-1
 E-mail : kinder@nagaoka.ed.niigata-u.ac.jp
 Website : <http://www.ed.niigata-u.ac.jp/kinder/>
 児童生徒数：男子 25 名 女子 37 名 合計 62 名
 児童・生徒の年齢 3 歳～ 6 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の活動

1) 身の回りの環境（自然物）とかかわった遊び

自然の大きさ、美しさ、不思議さなどに直接触れる体験を通して、幼児の心が安らぎ、豊かな感情、好奇心、思考力、表現力の基礎が培われることを踏まえ、日々の保育の中で、自然をはじめとした、身近な環境「ひと・もの・こと」に自らかかわることができるような環境を構成している。

～ 園庭の木の実や草花を使った色水遊び ～



～ 様々な素材の感触を楽しむ砂遊びや泥遊び ～



～ 園庭での虫取りと捕まえた虫の世話 ～



～ 水遊びや泡遊び ～



2) 廃材を使った製作

自分の遊びに対する思いやイメージを膨らませながら、身近な素材に興味をもってかかわる。素材の特性に触れ、考えたり、試したりしながら、工夫して遊んでいる。



トイレトペーパーの芯やミニ牛乳パックを使って作った釣りざおや魚で楽しむ魚釣り

緩衝材や広告、新聞紙を使って作ったお寿司で、お寿司屋さんごっこ



段ボールで作った乗り物とちぎった新聞紙を水に見立てて滑る、ウォータースライダー



ティッシュボックスとペーパー芯で作った掃除機やペット



3) 自然に親しむ活動や行事

幼稚園で行われる日々の保育以外にも、自然にふれる経験を増やすために、自然や生き物にかかわる四季折々の活動や行事を実施している。

●季節の自然を探しに近くの山や公園へ



●みんなで育てたサツマイモで焼芋大会



●縦割り班で行う栽培活動



●園庭での雪遊びや丘陵公園へのそり遠足



(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）